

TOKYO テレワークアワードで 大賞を受賞しました

株式会社船場（本社：東京都港区 代表取締役社長 八嶋大輔）は、2021年3月15日、東京都が主催する「テレワーク東京ルール」への宣言企業を対象にした第1回「TOKYOテレワークアワード」において、大企業部門で大賞を受賞しました。

1. 受賞の経緯

船場では、2019年より働き方改革に注力してまいりましたが、2020年3月以降のコロナウィルス感染拡大の状況を踏まえデジタル・トランスフォーメーション（以下DX）を加速。2021年2月には東京都が提唱する「テレワーク東京ルール」の実践宣言に賛同し、実施企業として認定されています。

2021年のテレワーク緊急強化月間においては、社内SNSで社長から全社員へ向けて、船場が今期より重要テーマとして掲げる「働き方と考え方をTransformする」メッセージを何度も発信し、テレワークの徹底を図りました。



▲ テレワーク東京ルール公式サイト/東京都
小池都知事の受賞発表動画はこちらをご参照ください。
(<https://tokyodouga.jp/kzrvbq3btcq.html>)

2. 受賞理由について（東京都より）

< 受賞理由 >

テレワーク勤務を実現するための業務フロー改革

< 受賞ポイント >

- ・ 緊急事態宣言下、テレワークの徹底を経営者から全社員へメッセージを強く発信
- ・ ワークフローの見直しにより、社内決裁申請の電子化、電子契約の導入などを進め、押印を削減
- ・ 出社率をリアルタイムで表示するなど、出社抑制の意識付を工夫

3.具体的な取り組み

テレワークの導入・運用上特に工夫した点は、次の通りです。

- Web会議、ビジネスSNSシステムの本格導入
 - 社内外オンラインコミュニケーションの促進
- 情報共有プラットフォームの活用
 - 在宅勤務に関するTipsやセキュリティ教育の強化
- 営業支援(SFA)・物件管理・施工管理
 - 物件情報の共有、対面での会議回数・時間の削減
- 社内申請の電子化
 - 業務フローを改善（押印のための出社を削減）
- 業者登録・契約の電子化
 - 協力業者に関する押印を削減
- オンラインストレッチ講座の定期実施
 - 在宅勤務の運動不足改善
- セキュリティ対策の実施
 - 在宅リモートワーク環境での情報セキュリティの強化



■「TOKYOテレワークアワード」とは

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて、テレワークを強力に推進することが求められる中、東京都が、事業者の取組を後押しするため、「テレワーク東京ルール」宣言企業を対象に、小規模企業やテレワークが導入困難な業種、取引先企業への波及など、モデル的・先進的な事例を「TOKYOテレワークアワード」として表彰するものです。

(公式サイト：<https://www.telework-rule.metro.tokyo.lg.jp>)

SEMBA CORPORATION

商業施設をはじめオフィスや教育・文化施設等の様々な空間創造において、企画・設計・施工・メンテナンスまでをトータルでサポートしています。「働き方と考え方をTransformする」を基本戦略に内装業界におけるデジタル・トランスフォーメーションを推進しています。

社名 株式会社船場 カブシキガイシャ センバ
 所在地 東京都港区芝浦1-2-3シーバンスS館9階
 上場 東京証券取引所市場第一部（コード番号：6540）
 主な実績 Firsthand RAYARD MIYASHITA PARK/設計・施工、GREEN SPRINGS/企画
 大阪大学豊中キャンパス大学生協食堂/設計・施工、VOYAGE GROUP OFFICE/設計・施工

本件に関するお問い合わせ
 株式会社 船場
 コーポレートコミュニケーション室

✉ information1008@semba1008.co.jp
 🌐 <https://www.semba1008.co.jp>

SEMBA